

由岐句会

駄菓子屋の店主まどろむ春の昼

少子化の里曲明るし藤の花

銅あかがねの社葺き替え陽炎える

荒磯あらかしの光を集め若布刈る

陽炎かげろうとなりて女の立ち話

陽炎や列車止まらぬ海の駅

番外寺一願一打鐘霞む

春の雷赤子目をあけまた眠る

海もろとも大島小島かすみけり

(戒谷 利公)

(青山 文夫)

(森本富美子)

(片山宇野代)

(中川 秀司)

(住谷 喜舟)

(戒谷 久代)

(下町 昭)

(森 浄子)

日和佐句会

阿部道路桜並木のはなざかり

春愁やニュースに訃報列車事故

青き眼の着物姿や京の春

桜散る過疎という地の静けさに

春霞母校の校歌ついでに

遅咲きの桜咲きたる沸く心

(橋本たかき)

(本庄 潮乃)

(福井 咲希)

(白河 輝女)

(永井 雅代)

(森 公子)

時雨庵句会

若布干す磯の香雲に乗りて来る

奇石の碑磯やしろの社もおぼろにて

(名田みや女)

(勝瑞 高春)

投稿(俳句)

電線を抛り所とならぶ初燕

薫風と花と小鳥の我が家かな

(岡本 真砂)

(張野 浩子)

日和佐短歌会

静もれる峡は俄に騒がしく田植準備のエンジン響く

ふれあいの里に連なる枝垂桜空を隠して天蓋のさま

うららかに晴れ暖かき入り彼岸孫をともない墓参り行く

遍路見ぬままにいつしか春深む札所の桜葉となり初めて

(栗林 和子)

(福井 郁子)

(小延 恭弘)

(本庄たると)

投稿(短歌)

手はじめのベッドメーカーキングにこころもち

ゆとり持たせる病棟実習

(下町 昭)

町民文芸のコーナーに掲載を希望される場合は、政策推進課(☎77-3616)まで連絡をお願いします。
※原稿は前月の15日前後までに提出してください。

にぎやかそクイズ??

問題

ウミガメの産卵地である美波町大浜海岸は、産卵に来るウミガメおよびその砂浜が国の天然記念物の指定を受けています。そのため、毎年ウミガメの産卵時期になるとウミガメ保護規制期間を設けています。では、今年のウミガメ保護規制期間は、何月何日から始まるのでしょうか？



応募方法

答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名をご記入のうえ、葉書かメールでご応募ください。美波町役場(政策推進課)もしくは由岐支所にご持参いただいても結構です。正解者は、次号の「広報みなみ」に氏名を掲載させていただきます。締め切りは、5月21日(金)です。

応募先

〒779-2395
徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1
美波町役場政策推進課 広報担当
E-mail: seisakusuishin@minami.i-tokushima.jp

4月号の答え
「みなみへの人の流れづくり、みなみの資源を活かした仕事づくり、みなみの子育て環境づくり、個性ある住み良い地域づくり」
正解者(敬称略)
西田広一(兵庫県)、大島輝久(阿南市)、喜井礼子(西由岐)